



安全・安心・ふれあい 連携

発行者：朝日連区地域づくり協議会・広報委員会

【連区あれこれ】：こんなことがありました



○ 8/10 (火) 祖父江町 ひまわり畑



一面に咲くひまわり

今年も稲沢市青年会議所により、だれでも楽しめるひまわり畑が開設されました。昨年とは場所が異なり、祖父江小学校の東方の広大な畑でした。しかし、数日後の激しい風雨でかなりのダメージを受けてしまい、残念な状態になってしまったので、束の間の全盛期でした。

○ 8/24 (火) 上祖父江本郷地藏盆・東筋墓地延命地藏供養
毎年8月24日のお地藏様の縁日に、朝方には上祖父江東筋墓地のお地藏様の供養を、夜には上祖父江本郷の光専寺（通称赤門寺）



地藏供養

前の公民館広場にて盆踊り大会を行うのが主要な恒例行事です。しかし昨年度に続き本年度も、上祖父江本郷地区の地藏盆踊りは、新型コロナウイルス感染流行により、ドンカチ太鼓の演奏・雨乞い踊りとともに中止を余儀なくされました。ただ、8月24日縁日朝方の東筋墓地のお地藏様供養は、昨年同様に上祖父江本郷の光専寺住職を招いて、営まれました。参拝は上祖父江1区4町内の町会長のみの少人数で行われました。

○ 9/3 (金) 朝日公民館部長会 18:00 尾西南部公民館

朝日公民館部長会が開催され、今後の行事について話し合われました。話の内容は「東海3県に緊急事態宣言が発令されており、連日感染者が愛知県で1700人を超え、一宮市では9月2日に91人となり増加傾向になっている。このため、当面の行事の続行が不可能と考え、苦渋の決断ではあるが、これ以後の朝日公民館行事は、朝日グラウンドゴルフ大会（11月21日実施予定）を除き、中止にする。ただし、この大会も状況によっては中止になる可能性がある」というものでした。

○ 9/4 (土) 敬老会記念品の準備作業 10:00 一宮市尾西市民会館



今年度も・・・

本年度も敬老会は、新型コロナウイルス感染拡大予防のために開催を中止しました。昨年度と同様に75歳以上の方（朝日地区の人口約12,500人に対して約2,700人）に、社会福祉協議会からのお祝いの品を各個人に届けることになりました。その準備を町会長さんや民生児童委員さん、地域



作業の様子

づくり協議会福祉部会の方等で、一宮市尾西市民会館で行いました。会長さんの挨拶の中で、来年度こそは敬老会が実施できるようになってほしいという話がありました。

○ 9/28 (火) 新濃尾大橋橋梁工事進捗状況



橋梁の組み立て



橋桁から徐々に繰り出し

徐々に進んでいる新濃尾大橋(仮称)工事は、橋桁が完了し、橋梁が造られています。川の中に建造基盤を設置するのではなく、現在の橋梁で組み立てた新橋梁部を、少しずつ次の橋桁に延ばしていき、順番につないでいくという工法です。西へ西へと延びていきます。岐阜県側も、今後同ような工事が進められ、少しずつ橋が

出来上がっていく様子がわかります。また、豊田合成から新しい橋までの道路の工事も進んでいて、祐久周辺の景色がどんどん変わってきています。

○ 10/1 (金) 体育祭 尾西第二中学校

9月25日に予定されていた体育祭が、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出ていたため延期になりました。緊急事態宣言解除の翌日ではあったのですが、本年度は、保護者のみの参観で時間を短縮して午前中に行われました。台風の影響が心配される中、生徒はのびのびと体育祭に取り組んでいました。なお、9月25日には、ブロック旗・パフォーマンス審査会が生徒だけで行われました。新型コロナウイルス感染が話題になっている中、知恵を出し合いながら尾西二中の伝統を繋ごうとしている生徒たちや学校関係者の方々に拍手を送りたいと思います。



尾西二中 提供



尾西二中 提供

【トピック】 「祖父江ぎんなんパーク」開園



祖父江町山崎に、「祖父江ぎんなんパーク」が開園しました。園内には多くのイチョウの木が植えられ、秋が深まる11月中旬から下旬には、銀杏の葉が紅葉し、辺り一面黄色一色になります。新型コロナウイルス感染対策をしっかりと行って、深まりゆく秋を感じてみてはどうでしょう。



ぎんなんパークの入口

《ルネサンス朝日》 35 (史跡めぐりマップ)



朝日地区の再発見を

西中野渡船場—その2



西中野渡船場は木曾川に残る最後の渡船場ですが、かつてあった他の渡船場をご存じですか？多いときには、約2 km間隔くらいに数多く渡船場がありました。

朝日の近隣では下流から、給父、神明津、拾町野、八神、西中野(石田)の順に、さらには加賀野井、駒塚、竹橋河戸、宮河戸、起常渡船場、奥村、里小牧、笠松(宝江)、北方(川島)、河田、松倉にそれぞれ長期間あるいは一時的に存在していた記録があります。

西中野渡船場は、養老上石津の多良から尾張へ往来する際に使われた、多良街道とも呼ばれた旧街道を通る際に木曾川を渡す渡船の発着場であり、大変に重要な役割を果たしていたものと思われます。多良街道は羽島ではあまり明確に扱われていませんが、長良川を越えた輪之内町では大々的に扱われ、ウォーキングコースの一つになっています。尾張からはお千代保稲荷への参詣、関ヶ原宿へ出る間道としても多く利用されました。